

◎ 基本構想の位置づけ

- ・ 義務教育学校設立・建設に向けた構想として策定
- ・ 今後の基本計画(施設整備計画等)・基本設計の指針
- ・ 教育内容・施設整備の基本的な考え方を整理し、地域の教育の方向性を具体化するもの

👥 設立準備委員会での説明状況

- R7.7.18** 第1回会議：現状と課題、義務教育学校概要を説明
- R7.11.20** 第2回会議：施設整備の項目について頭出し
- R8.1.22** 第3回会議：施設整備計画の詳細について説明予定

事業スケジュール(概要)

	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	
工事	基本構想	基本計画 基本設計	実施設計・工事着手(校舎竣工R13年度)					校舎供用開始(R14年度)			
							外構・グラウンド工事、プール改修、旧校舎解体工事				
学校	藤島小				義務教育学校開校 ・現藤島小中校舎を使用 ・9年間の教育課程スタート				新校舎へ引越し ・施設一体型での教育		
	東栄小										
	渡前小										
	藤島中										

! 地域の現状・課題

児童生徒数の減少

少子化の進行により、児童生徒数が年々減少傾向

- ・ 少人数・複式学級の発生による教育環境への影響
- ・ 集団活動や部活動の規模縮小

校舎の老朽化

既存校舎は建設から長期間が経過し、老朽化が進行

藤島中
築57年(S43)

藤島小
築49年(S51)

東栄小
築41年(S59)

渡前小
築37年(S63)

統合対象校

以下の4校を統合し、新たな学校を設置

藤島小 東栄小 渡前小 藤島中

義務教育学校の概要

施設一体型義務教育学校

9年間を見通した系統的な教育課程で、「4-3-2」のブロック制の導入を検討

前期(1-4年)

中期(5-7年)

後期(8-9年)

学級担任制

一部教科担任制

教科担任制

開校時の規模見込み(R11年度)

487名
全校児童生徒数

17学級
通常学級数

約39名
教職員数

※特別支援学級も設置予定

★期待される教育効果

- ・ 小中ギャップの軽減
: 段差の滑らかな接続
- ・ 確かな学力・豊かな心の育成
: 異学年交流や教科担任制の早期導入
- ・ 地域連携・幼保小連携
: 伝統・農業体験、幼児との交流促進

義務教育学校における施設整備の基本的な考え方



1. 9年一貫の学びを支える学習環境

- ・ 発達段階に応じ、個別最適な学びと協働的な学びを柔軟に組み合わせられる構成
- ・ 図書・ラーニングコモンズ※1を学びの中心に配置



2. 異学年交流と多様な連携を促す空間構成

- ・ 異学年が自然に交わる動線と交流空間を配置
- ・ 教職員間の連携と情報共有が進む配置



3. 安全・安心で快適な学校づくり

- ・ 耐震性能確保と多雪への配慮、バリアフリー・UD※2の徹底
- ・ 防犯に配慮するとともに、適切な空調・換気環境を確保



4. 地域とともにある学校(開放とセキュリティの両立)

- ・ 地域住民との交流スペースの整備
- ・ 地域の防災拠点としての避難所機能を確保



5. ICTと多様な学びに対応する学習基盤

- ・ 校内ネットワーク、無線LAN、電源・提示環境※3の整備
- ・ 図書資料とICT機器を組み合わせ活用できる環境づくり



6. 環境に配慮した持続可能な施設整備

- ・ 省エネルギー化とZEB※4(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の視点
- ・ 断熱・自然採光・高効率設備等で環境負荷と運用コストを抑制



7. 将来変化への対応

- ・ 将来の児童生徒数の増減や教育活動の変化に対応できるよう、教室や共用スペースを用途に応じて柔軟に使い分けられる施設計画
- ・ 日常の授業から特別活動、地域利用まで幅広く活用できる環境の整備



8. 学童機能の一体整備

- ・ 放課後児童クラブ(学童)を校舎と一体的に計画し、子育て支援を強化

※1 ラーニングコモンズ: 図書やICT機器を活用し、調べ学習や話し合い、発表などを行うことができる、多様な学びに対応した学習スペース。

※2 UD(ユニバーサルデザイン): 年齢や障がいの有無にかかわらず、すべての人が安全で快適に利用できるよう配慮した設計の考え方。

※3 提示環境: 電子黒板や大型モニター、プロジェクター等により、教材や資料、児童生徒の成果物などを分かりやすく共有・提示できる環境。

※4 ZEB: 建物で使用する年間の一次エネルギー消費量を、省エネルギーや再生可能エネルギーの活用により、実質的にゼロにすることを目指した建物の考え方。



校舎建設予定地 鶴岡市立藤島中学校グラウンド

※屋外プールは現行の施設を活用 ※周辺諸施設との一体的な検討